

ALOS パンシャープン画像を用いたエジプト西方砂漠ハルガオアシス周辺の神殿と水環境マップの試作

Ancient temple and water environment map around Kharga Oasis, Western Desert, Egypt based on ALOS pan-sharpened imagery

渡邊 真紀子 [1]; 古川 桂 [2]; 杉村 俊郎 [3]; 亀井 宏行 [4]

Makiko Watanabe[1]; Katsura Kogawa[2]; Toshiro Sugimura[3]; Hiroyuki Kamei[4]

[1] 首都大・都市環境・地理; [2] 東工大・社理工・人間行動; [3] レステック; [4] 東工大・情報理工・計算工学

[1] Geography, Tokyo Metropolitan Univ.; [2] Human System Science, Tokyo Tech; [3] RESTEC

; [4] Computerscience, Tokyo Tech.

エジプト・ナイル河西方砂漠の中で最大のオアシスであるハルガオアシスは、ローマ支配時代には、スーダンから中部エジプト方面へ奴隷を運ぶキャラバンルートが通り、このルートを守るために、ヒビス、ナデウーラ、アル・ザヤーン、アル・ガウィータ、ドゥーシュなどの神殿が城塞として利用された。今日、エジプト政府は、将来の人口増に備えてアスワンからオアシス群に導水し、西方砂漠地帯の農地開発と定住化をはかるプロジェクトを進めようとしている。本研究では、オアシス地域における神殿立地と古代の水環境を明らかにすることを目的として、ALOS パンシャープン画像を基図に、2003年～2008年の現地調査によって得られた地理情報を結合させて、ハルガオアシス周辺の神殿と水環境のマップの作成を試みた。古代エジプト・オアシス群の遺跡の起源や性格に関する歴史・考古学上の意義に加えて、エジプト政府の開発政策の助けとなる地図の作成をめざす。